

日本地球惑星科学連合2011年大会ハイライト論文に推薦されました

2011年5月22日(日)～27日(金)に幕張メッセで、日本地球惑星科学連合2011年大会が開催されます。

日本地球惑星科学連合大会(Japan Geoscience Union (JPGU) MEETING)は日本の地球科学、惑星科学、宇宙科学に関連する48の学術協会が共同で開催する、地球惑星科学に関する日本最大のジョイントミーティングです。

この大会で発表される4,000件以上の論文のなかから、ハイライト論文として、JAMSTEC研究者が代表者となっている以下の論文が推薦されました。

ハイライト論文は、大会の発表のなかで、特に学術的・社会的に話題性の高いと思われる発表が、地球惑星科学連合企画(ユニオン)と、日本地球惑星科学連合の5つのサイエンスセクション(宇宙惑星科学、大気海洋・環境科学、地球人間圏科学、固体地球科学、地球生命科学)、その他、広領域の合わせて7つのカテゴリーごとにそれぞれ5件を目安に推薦されるものです。

タイトル: アミノ酸の窒素同位体比を用いた食物網解析:陸上生態系への応用

代表者: カ石嘉人(海洋・極限環境生物圏領域)

発表日: 2011年5月22日(日)

タイトル: 南極昭和基地への黒色炭素の長距離輸送と起源の推定

代表者: 須藤健吾(地球環境変動領域)

発表日: 2011年5月23日(月)

タイトル: MCS断面から探る房総沖地震活動に関する構造的特徴

代表者: 三浦誠一(地球内部ダイナミクス領域)

発表日: 2011年5月23日(月)

タイトル: 熊野灘沖付加体巨大分岐断層とプレート境界断層の表層まで伝搬した地震破壊
-IODP Exp316ちきゅうによる非破壊コア分析の成果-

代表者: 坂口有人(地球内部ダイナミクス領域)

発表日: 2011年5月24日(火)

関連プレスリリース

2011/04/28発表

[波断層の活動痕を初めて発見](#)

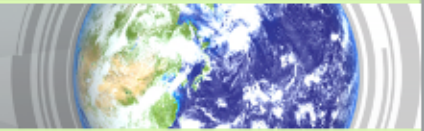
[～地球深部探査船「ちきゅう」による南海トラフ地震発生帯掘削計画の成果～](#)

※発表の聴講には当日参加登録(有料)が必要です。

JAMSTECでは、大会期間中、併設の展示会場においてブース出展もしております。最新の研究成果などをご紹介しますので、ぜひお立ち寄りください。

▶ [日本地球惑星科学連合](#)

Japan Geoscience Union
Meeting 2011



日本地球惑星科学連合 2011年大会

日時：2011年5月22日(日)～27日(金)

場所：千葉県 幕張メッセ国際会議場